

最近の“投資”に関する事件

(2014年3月時点:平成26年度証券検査基本方針より)

事件等

(年月はSESCによる摘発等の時期)

AIJ事件
2012年2月

公募増資
インサイダー事件
2012年4月～7月

MRI事件
2013年4月

アブラハムPB事案
2013年10月

その他

概要

AIJ投資顧問は、企業や業界団体の年金基金127件の運用を受託していたが、実質的に同社が運用する海外ファンドでの運用資金流用や運用失敗で、運用資産約2000億円の殆どが消失した事件

公募増資の主幹事を務める大手証券各社において、増資の公表前に大手運用会社や海外ヘッジファンドへ増資情報が流れ、インサイダー取引が行われた一連の事件

同社は、米国での診療報酬債権で運用するファンドの販売を日本で行っていたが、実際の運用資産は他の顧客への配当や償還資金に充てられ、運用実績が殆どなかった。また、運用資金の一部が会社資金へ流用された。

同社は、投資助言・代理業であるが、実質的に海外ヘッジファンドの個人投資家への販売を行っていたと見なされ、また目立った宣伝広告などに関して過大表示があるとされた。また、証券検査によって顧客への利益供与もあるとされている。

- ・証券会社による顧客資産流用
- ・ファンド業者による出資金流用
- ・適格機関投資家特例業務による逸脱したファンド販売
- ・無登録者によるファンド・私募債等の販売 など

主な問題点

運用資金流用

運用成績虚偽報告

投資一任勘定契約の為の偽計

証券会社における法人関係情報の管理問題

チャイニーズ・ウォール機能せず

運用会社によるインサイダー取引課徴金問題

運用資金流用

運用成績虚偽報告

顧客に対する虚偽告知

実質的無登録の海外ファンド販売

事実と異なる広告

特定顧客への利益供与

届出業者の業務逸脱

無登録業者

新年度、重点的に当局が検査する事項

(平成26年度証券検査基本方針より)

証券会社関連

金融商品取引業者等の
市場仲介機能

- ・口座開設時の確認(資金洗浄やテロ資金対策の観点から・反社会的勢力との取引未然防止)
- ・引受審査(特にIPOの審査機能)
- ・リスクが高い商品のリスク管理態勢、販売管理態勢

法人関係情報の管理

- ・インサイダー情報を含む法人関係情報が厳格に管理されているか

公正な価格形成を阻害するお
それのある行為への対応状況

- ・不公正取引防止のための実効的な売買審査(ネットやDMAでの相場操縦行為の確認を含む)
- ・海外関係会社等から受託する注文の原始委託者の把握
- ・空売り規制の管理態勢(フェイル発生管理を含む)

投資勧誘の状況

- ・適合性の原則の観点から検証(以下は、特に)
 - ✓ 投信解約
 - ✓ 店頭デリバティブ及び類する私募債

運用業者関連

- ・海外ファンドを組み入れた場合の適切なデュー・デリジェンス及びモニタリング
- ・特に投資一任勘定における法令順守の確認(忠実義務・善管注意義務を含む)

投資助言・代理業

- ・前頁のアブラハムPB事案と同様の実質的海外ファンド等に繋がるケースがないか確認

ファンド業者

- ・業務運営の適切性や分別管理状況を含む法令の遵守状況
- ・特に海外ファンドに関して、適切なデュー・デリジェンス及びモニタリング及び適合性の原則を踏まえた適正な勧誘行為